

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

No.M16C-08-9704

M16C/60グループ ホールド信号、レディー信号の使用上の注意事項

1. 対象品種

M16C/60グループ

2. 現象

書き込み命令の直後にJMP.A命令またはJSR.A命令を記述した場合、データの書き込みがホールド状態やレディー状態の解除後に行われると、正常でない番地にそのデータが書き込まれます。

この現象は、MSC TECHNICAL NEWS 「No. M16C-02-9607」の追加情報です。

3. 具体例

下記のプログラムを実行した場合で、ホールド信号、レディー信号が入力されないとき、MOV.B命令でROLの内容が0050116番地に書き込まれ、JMP.A命令でLABELにジャンプします。

しかし、0050116番地への書き込みの前にホールド状態やレディー状態になると、書き込みが各状態の解除後に行われ、ROLの内容が0050116番地以外の番地に書き込まれます。

```
MOV.B    ROL , 501H
JMP.A    LABEL
      :
LABEL:
```

4. 対策

JMP.A命令またはJSR.A命令の前に、そのJMP.A命令またはJSR.A命令にジャンプするJMP.B命令を挿入してください。

例

```
MOV.B    ROL , 501H
JMP.B    PTCH
PTCH:    JMP.A    LABEL
      :
LABEL:
```

5. 参考

JMP.A命令、JSR.A命令は、分岐距離が32Kバイトを越えるときに使用する命令です。32Kバイト以内の無条件分岐にはJMP.S命令、JMP.B命令、またはJMP.W命令を、32Kバイト以内のサブルーチン呼び出しにはJSR.W命令を使用してください。